

桜の花が終わるとき

小林まをる

桜のコンサートは聞きながせ  
ついに座る場所のない都市だった  
遷暦の織じ込みはすばやく済ませ  
太陽を回りこむ彗星の軌道にのって  
弓なりに絞って弾き出されよう

踊り場の桜見物はほんの一瞬  
後ろ髪惹かれることがあるなら  
それが詩だ  
またたいている俺の血  
言葉のかけら  
やっと見えてきたうす紅色の戦士よ

桜の花が終わるとき  
目に沁みる風の痛さが  
彼方からやってくる祝祭の証  
貧しさの中で腐食する水に  
錆びやすい水にすむいのちに

種を宿している自慰の桜に  
人は自ら決することなしに  
次の世代に軌道することはできないと  
懐かしい人々に送る  
丁寧な弔辞は頼んでおけ